

マレーバクの「カイク」が死亡しました



元気なころの「カイク」

よこはま動物園で飼育していたマレーバクの「カイク」が死亡しましたので、お知らせします。

○マレーバク「カイク」

- (1) 性 別 オス
- (2) 出 生 日 平成12年9月4日(20歳)
- (3) 死亡日時 令和3年1月25日(月)18時45分頃死亡確認
- (4) 死 因 腸閉塞(絞扼性イレウス)

● カイクのプロフィール

平成15年3月22日に、千葉市動物公園から来園した個体です。目がクリクリしていて可愛らしい顔つきの、とても穏やかな性格の個体で、飼育担当者にとっても友好的でした。ブラッシングが大好きで、体を触るとどんな場所でも寝てしまう姿がお客様から好評でした。来園して2年後に誕生した子ども(現在、アドベンチャーワールドで飼育するハナ)は、カイクの孫にあたる個体を多く産んでいます。令和元年6月に来園したメスのロコと並んで休息したり、一緒にプールに入ったりする仲睦まじい様子が多く見られていました。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■マレーバクについて

和名	マレーバク
英名	Malayan Tapir
学名	<i>Tapirus indicus</i>
分類	奇蹄目 バク科
分布	ミャンマー南部からマレー半島、スマトラ島
生態	現存するバク4種のうち唯一アジアに生息しており、バクの仲間では最も体が大きいことで知られています。他のバクと違って、体の色が黒と白のツートンカラーになっているのが特徴です。熱帯雨林の森の中で単独で生活していて、木の葉や草などを餌としています。水辺を好み、泳ぎも巧みです。生息地の破壊などで数が少なくなり、絶滅が心配されています
ワシントン条約 (CITES)	附属書I：絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧IB類 (EN)：近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
当園飼育頭数	1頭 (オス0頭、メス1頭) ※令和3年1月29日現在 ※今回死亡した個体は含まず
国内飼育頭数	14園館 35頭 (オス20頭、メス15頭) ※令和2年12月31日現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

◆入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料

毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）

よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円

◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）

◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1 ※臨時開園あり

◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約15分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約1時間

◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>

◆住所：横浜市旭区上白根町1175-1

◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

- ・土日祝日の入園には、整理券の事前予約が必要となります。
- ・1日の入園者数を8千人程度に制限します。
- ・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。